



食育を支える取組

食育を効果的に推進するため、市町村を始めとする関係者との連携を図りつつ、「食育にかかる人材の育成と活動の充実」、「関係者の役割分担とネットワークの充実」、及び「いいともあいち運動の推進」について取り組みました。

1 食育にかかる人材の育成と活動の充実

愛知県食育推進ボランティアとして「ふれあい市場まつり 2016」に参加

岩倉市、岩倉市食生活改善推進員

●実施時期：平成 28 年 10 月 30 日

●対象者：市民、食育推進ボランティア

●内容

平成 26 年度に「愛知県食育推進ボランティア」に登録し、翌 27 年度には初めて名古屋市主催の「ふれあい市場まつり」に出展した県のブースで、ボランティアとして活動しました。

今回も引き続き、県の食育コーナーで「花当てクイズ」や「粉当てクイズ」が行われ、食育推進ボランティアが参加者の誘導やクイズの手伝いを行いました。

●活動の成果、今後の課題

普段は岩倉市内で栄養教室の開催や学習に携わっているところですが、今回のイベントでは、愛知県食育推進ボランティアの登録カードを名札に入れることによって、愛知県の食育推進に携わっているという意欲を高めることができました。

今後もこうした機会を体験することで、食育推進ボランティアが岩倉市の食育推進に取り組むための幅広い知識や、経験を積むきっかけになったら良いと思います。



〈取組項目：愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実〉

〈取組場面：地域〉

地域食育推進ボランティア研修交流会の開催

愛知県食育消費流通課

●実施時期：平成 28 年 8 月～12 月

●対象者：愛知県食育推進ボランティア

●内容

県民の食育の実践を支援するため、食育の推進活動を自主的に行う愛知県食育推進ボランティア（以下「ボランティア」という。）の登録制度を設けて、ボランティアの資質向上を図っています。

今年度は、これまで県域で行ってきた研修会を切り替え、各農林水産事務所でボランティアと関係者が食育について学び、交流を図る「地域食育推進ボランティア研修交流会」を始めました。

●活動の成果、今後の課題

農林水産事務所毎に県下 7 か所で、地域の実情に合わせた食育についてのテーマを取り上げ、情報提供を行った他、ボランティア同士や関係者が交流する研修交流会を開催し、総計 231 名のボランティア及び関係者が参加しました。



〈取組項目：愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実〉

〈取組場面：地域〉

輝きネット・あいちの技人認定式及び研修会

農村輝きネット・あいち

●実施時期：平成 29 年 1 月 26 日

●対象者：農村輝きネット・あいち会員

●内容

平成 15 年度から、これまでのグループ活動で培い、優れた農業及び暮らしの技術を持ち伝承できる会員を「輝きネット・あいちの技人」として認定しています。

平成 28 年度は、14 回目となる認定式を愛知県西三河総合庁舎で開催し、新たに 10 名を認定しました。認定式後には、天龍村柚餅子生産者組合の関京子組合長を講師に招き、「柚餅子の出会いで、豊かな人生！」と題して、研修会を行いました。

●活動の成果、今後の課題

輝きネット・あいちの技人の認定者数は 252 名になり、地域住民や小・中学校の子どもたちに対して、地域の農業や伝統料理を教えるなど農業理解を深める地域活動をしています。

今後も技人の活躍を期待し、認定していきます。



〈取組項目：食育に係る多様な人材の育成と活動の促進〉

〈取組場面：地域〉

2 関係者の役割分担とネットワークの充実

西三河地域食育推進ボランティア研修交流会

公益社団法人愛知県栄養士会、生活協同組合コープあいち、
愛知県西三河農林水産事務所農政課

●実施時期：平成 28 年 12 月 13 日

●対象者：食育推進ボランティア他

●内容

平成 28 年 12 月 13 日（火）、西三河総合庁舎において、西三河地域の愛知県食育推進ボランティアら 74 名が出席して「食育推進ボランティア研修交流会」を開催しました。

講演では、栄養士会の広瀬輝美管理栄養士から、「災害時の食の備えについて」と題して、東日本大震災の被災現場を訪れた体験から、災害食のレシピの普及に努めていることが紹介され、切干大根とわかめとみかん缶を用いた災害時食の試食を行いました。

事例発表では、生活協同組合コープあいちから、「組合員活動を支援するしくみと愛知県食育推進ボランティア」と題して生協の食育活動が紹介され、発表の最後には会場の出席者と一緒に「しょくまる体操」を楽しみました。

その他、愛知県食育推進課（現：食育消費流通課）から「あいち食育いきいきプラン 2020 について」及び「食品ロス削減の普及啓発について」、農政課からは「食育推進ボランティアの活動について」及び「地産地消クイズ」、東海農政局からはメールマガジンの紹介等、盛りだくさんの内容になりました。

質疑応答でも、災害時食のレシピの普及などに関して、活発に意見交換が行われました。

●活動の成果、今後の課題

西三河地域の食育推進ボランティア同士が顔を合わせる機会は少なく、今回、一緒になって一同に会って参加することにより、連携のきっかけが生まれることを期待しています。

農政課主催のボランティア研修交流会は初めての試みでしたが、参加者の反応も良く、さらに内容を充実させていこうと考えています。

また、継続して取組を実施していくことが大切だと考えており、そのための手だてが今後の課題です。



〈取組項目： 活動主体同士の情報共有と連携の強化〉

〈取組場面： 地域〉

食育講演会

愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会

●実施時期：平成 28 年 8 月 19 日

●対象者：県内勤務の栄養教諭、学校栄養職員、食育推進団体構成員

●内容

学校給食における地場産物活用率を、愛知の目標値に近づける手立てとして平成 19 年度から農業協同組合愛知中央会と連携を図ってきました。早い段階からの連携によって第 1 次、第 2 次の目標値を達成することができ、現在、第 3 次の目標値達成に向けて、生産・流通する側の 10 年間の取組を聞くことで、成果と課題を明らかにし、目標値達成に向けて取組をしています。



●活動の成果、今後の課題

生産者や農協の活動内容を聞くことで、各自実践している内容を振り返るきっかけにすることができました。今後更に推進すること、方向性を再度考慮すること等整理をし、愛知県が目指す数値目標達成を目指したいと思います。講演会の参加者は 420 名でした。



〈取組項目： 活動主体同士の情報共有と連携の強化〉

〈取組場面： 地域〉

健康フェア(市民ふれ愛まつり)

岩倉市健康づくり推進協議会

●実施時期：平成 28 年 11 月 11 日、12 日

●対象者：市民

●内容

「私が主役！健康いわくら 21～からだにいいことはじめよう～」をテーマに、野菜摂取増加に向けた内容や、嗜好食品に含まれるエネルギー量と、これを消費する運動や時間について展示しました。野菜に親しむ体験コーナーとして「野菜当てクイズ・種当てクイズ」を、子ども用大人用に分けて行った他、地場産の「カリフラワー」「ちっちゃイ菜」を、商工農政課を通して生産者から分けて頂いて、展示をしました。

●活動の成果、今後の課題

野菜・種当てクイズでは、例年以上に子どもの参加がありました。家庭や学校等での教育の成果もあり、子どもの正解率は高く、野菜に親しみを持つ人が多かったと感じました。また、市との連携により、生産者の方から地場野菜を分けて頂いた他、実際に展示会場に生産者が見に来て下さり、ボランティアと生産者との顔が見える関係を築くことができました。

今後も生産者と関係を深め、地産地消の推進や食べ物や生産者、自然への感謝の気持ちを育み、食を通したコミュニケーションを深められることを目指したいと思います。



〈取組項目： 既存のネットワークを活用した関係者間の情報共有〉

〈取組場面： 地域〉

3 いいともあいち運動の推進

いいともあいち運動シンボルマークの愛称が「あいまる」に決定！

愛知県食育消費流通課

●実施時期：平成 28 年 11 月から平成 29 年 2 月 ●対象者：一般

●内容

愛知県産農林水産物のイメージアップを図り、いいともあいち運動をより一層、幅広い年齢層の県民に親しみやすいものとするため、愛称を募集したところ、832 作品の応募があり、いいともあいち運動推進協議会の構成員による審査の結果、「あいまる」に決定しました。

「いいともあいち交流会」の会場において表彰式を行い、「あいまる」と応募した人の中から 1 名に、知事から賞状と副賞（名古屋コーチン鍋セット）を授与しました。

●活動の成果、今後の課題

県内の小学校や県外からも応募があり、いいともあいち運動を広く周知することができました。愛称に決まった「あいまる」は、愛知がイメージできる“あい”と、シンボルマークの形や丸ごと愛知という意味を“まる”で表現しており、とても親しみやすいことから選定しました。

今後は、この愛称をのぼりやポスター等の啓発資材に使用して、広く PR に活用していきます。



〈取組項目：運動の定着促進〉

〈取組場面：地域〉



いいともあいち交流会の開催

愛知県食育消費流通課

●実施時期：平成 29 年 2 月

●対象者：県民

●内容

消費者と生産者、流通関係者等との交流により商品開発や販路開拓を図り、消費拡大につなげるため「いいともあいち交流会」を開催しました。

この交流会は、従来では農林漁業者と食品製造業者、流通業者を対象とした商談会のみを開催していましたが、消費者との交流を行い消費拡大に繋げるため、2 日間にわたって商談会+消費者向け即売会としました。

1 日目（平成 29 年 2 月 19 日）は 27 事業者が出展し、イオンモール大高で一般消費者を対象に商品 P R、展示販売、試食を行い、2 日目（2 月 20 日）は 26 事業者が JP タワー名古屋で事業者向けの商談会を行いました。

●活動の成果、今後の課題

1 日目のイオンモール大高には 5,880 名の一般来場者がありました。また、2 日目の商談会では出展 26 事業者に対し 26 名（県内 14 名、県外 12 名）のバイヤーを集め熱心な商談が行われました。

その結果、商談件数 276 件、うち取引交渉継続中は 40 件となっています。
(2 月末時点)



〈取組項目：協働活動の充実〉

〈取組場面：地域〉

